

# 第〇学年〇〇科学習指導案

平成 年 月 日 曜日 第 校時  
年 組 児童・生徒数 名  
指導者 印

## 指導案作成例

基本の書き方は、各教科・領域の形式に合わせてください

1 単元・課題名 「 \_\_\_\_\_ 」 ( \_\_\_\_\_ )

**必須①**

任意でしたが、定着してきたので必須にします。  
キャリア観にアンダーラインを入れてください

2 単元観・キャリア観 (キャリア教育の視点に関わる部分にアンダーライン)

教材観、指導観、児童・生徒観等を分けて書くようにする。

3 単元の指導目標

○ 教科の指導目標

・  
・

○ キャリア教育視点でのつきたい力

・

**必須②**

『～目標』にしていますが、評価とのかかわりが難しいので、つきたい力に変えています。

【基礎的・汎用的能力の項目】

基礎的・汎用的能力の4項目から選ぶ。

4 単元の評価規準

〇〇への関心・意欲・態度	能力	〇〇についての知識・理解・技能
◎ ※ 文末表現は、「～しようとする」	◎ ※ 文末表現は、「～している」	◎ ※ 文末表現は、「～している」

◎は、重点をおいた評価規準。

『評価規準の作成、評価方法の工夫改善のための参考資料－評価規準、評価方法等の研究開発(報告)』国研  
★小学校 [http://www.nier.go.jp/kaihatsu/houkoku/index\\_e.htm](http://www.nier.go.jp/kaihatsu/houkoku/index_e.htm)  
★中学校… [http://www.nier.go.jp/kaihatsu/houkoku/index\\_jh.htm](http://www.nier.go.jp/kaihatsu/houkoku/index_jh.htm)  
『評価規準 評価方法』で検索  
評価規準は、この資料の文言を、そのまま活用する

5 指導と評価の計画 (全 時間)

時	主な学習活動	〇〇への関心・意欲・態度	能力	〇〇についての知識・理解・技能
1		(評価方法) ※おおむね満足できる状況(B)を示す。	(評価方法) ※おおむね満足できる状況(B)を示す。	(評価方法) ※おおむね満足できる状況(B)を示す。
2 本時	(評価方法)については、児童生徒のどのような姿を評価するのか具体的にするために記入。			
		つきたい力を明確にし、1時間の中に評価規準を1つ or は2つ設定する。 1時間の中で、全ての評価の項目を記入する必要はない。		

## 6 本時の指導 ( / )

### (1) 目標・評価規準・評価方法

**必須③**

本時の目標	・教科の目標 ・キャリア教育視点でのつきたい力	『単元の指導目標』から選んで記入
本時の評価規準	※「5 指導と評価の計画」に示した評価規準を記入する。	
評価方法	※「5 指導と評価の計画」に示した評価規準を記入する。	

### (2) 展開

**必須④**

	学 習 活 動	指導上の留意点 ○…教科の留意事項 ☆…キャリア教育視点での留意事項	評価規準・(評価方法)
導 入			
展 開			
ま と め			

キャリアの視点と考えられる項目には☆をつける。

「発表させる」「記入させる」という表現を、  
『自分の生活経験と関連させて記入させる』や  
『聞き手を意識して発表させる』など、キャリア  
視点の意図を含めた表現にする。

【評価について】  
基礎的・汎用的能力は、1時間の授業で評価できるものではないので、  
評価規準・(評価方法)の欄には記入しません。  
※推進校の研究の中で、評価を入れる方法を考えられた場合には  
記入してください。  
※授業者は、『キャリア教育視点でのつきたい力』を意識して授業  
ができたかを振り返ってください。

※『評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料』国研究－指導資料・事例集－  
を参照するとよい。 <http://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryoku.html>